

新着図書からおすすめの5冊

(平成24年8月7日掲載)

貸出と予約の開始は**8月7日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**8月14日(火曜日)**です。

『変わりゆく日本の家族』

スーザン・ヴォーゲル 著

ミネルヴァ書房 刊

メンタルヘルス諸問題を日米比較の視点から研究している著者が、半世紀にわたる専業主婦3人への聞き取りを通して、家族の変わりゆく姿を追った日本人論。

著者紹介：1931年米国生まれ。シモンズ大学大学院でソーシャルワーク修士課程修了。ハーバード大学メンタルヘルスセンター主任スーパーバイザーを務め、全米ソーシャルワーカー協会等に所属。

請求記号：367.2/V,86

『次世代医療への道』

山下徹 著

ダイヤモンド社 刊

医療IT先進国ヨーロッパと、猛烈な巻き返しを始めたアメリカ、局地的に進化するアジア近隣諸国…。それに比べて日本ではなぜ情報の共有が進まないのか。「情報の利活用」による次世代の医療サービスを考える。

請求記号：498/J,54

『白い馬』

東山魁夷 著

講談社 刊

湖のほとりで不思議な白い馬に出会った少年は、馬の背中に乗って空高く舞い上がった。馬は少年をオーストリアへと連れて行き…。東山魁夷の名画と、遺した言葉から織りなされる物語。

著者紹介：1908～99年。神奈川県生まれ。東京美術学校日本画家、同研究科卒業。風景画家。

請求記号：726.6/Ma,81

『発酵食品学』

小泉武夫 著

講談社 刊

世界と日本のさまざまな発酵食品を、発酵嗜好飲食品(酒類)、発酵調味料、その他の発酵食品に分けて紹介。発酵食品のおおまかな製造原理と歴史・分布なども説明する。

著者紹介：東京農業大学農学部醸造学科卒業。同大学農学博士取得、名誉教授。別府大学、石川県立大学などで客員教授を務める。著書に『発酵』『発酵食品礼讃』『食あれば楽あり』など。

請求記号：519.8/I,36

『芭蕉の杖跡 おくのほそ道新紀
行』

森村 誠一 著

角川マガジン 刊

元禄2年、全行程2400kmに及ぶ旅に出た松尾芭蕉。ミステリー小説の巨匠であり、「写真俳句」で俳句の新たな可能性を追求する森村誠一が、芭蕉を追い、「おくのほそ道」の謎に挑む。『毎日が発見』掲載を単行本化。

著者紹介：1933年埼玉県生まれ。青山学院大学卒業。ホテルマン生活を経て、作家活動に入る。著書『高層の死角』『腐蝕の構造』など。

請求記号：915.5/Mo,56

※本の内容紹介は、図書館流通センター(TRC) MARCより引用しました。

→ [バックナンバーはこちら](#)

→ [新着図書の一覧はこちら](#)

→ [インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)